

FLIP ROSE® 2D (ver.7.2シリーズ, ver.7.4シリーズ) プログラム機能比較表

(2019年7月現在)

プログラム名		FLIP ROSE ver.7.2シリーズ (最新ver.) FLIP ROSE ver.7.2.3_7	FLIP ROSE ver.7.4シリーズ (最新ver.) FLIP ROSE ver.7.4.3
特徴		(1) 液状化解析 2D (2) 非排水および透水解析 (間隙水圧消散に伴う沈下解析) (3) 非線形はり要素としての『非対称修正武田モデル』の組み込み (4) 鋼材の強制変位解析機能の組み込み (地震前の長期の地盤変形により鋼材に生じる断面力の考慮) (5) 砂の非排水せん断の終局状態 (Steady State) の組み込み (液状化に伴う Flow failure 現象の考慮) (6) 固有値解析機能の組み込み (地盤・構造物系の固有振動数と固有振動モードの解析が可能に) ※2017年4月1日以降の販売版ver.7シリーズはサポート会員サイトよりダウンロード可能。販売版ver.7シリーズの使用可能PC台数は、STD版 (ACA版含む) 1台、LAN版 (同一ネットワーク内で) 最大3台まで。 ※ユーザー会員版は日本語または英語から選択。使用可能PC台数は、同一ネットワーク内で最大10台まで。	左記、(1) ~ (6) に加えて、 (7) 杭-地盤相互作用ばね要素に杭周面摩擦模擬機能を追加 (8) 非線形ばね要素に杭先端ばね模擬機能を追加 (9) 非線形はり要素の軸力依存のトリニアリティのM-φ関係設定方法を変更 (10) 要素出力成分の追加および出力する諸値の表示形式の変更 (11) 流速ベクトル出力機能を追加 (Ver.7.3.1で追加) (12) 線形平面要素に平面応力要素を追加 (Ver.7.4.0で追加) (13) 港湾基準改訂(2018)対応のバイリニアモデル(IHT=2, IAX=5)を導入 (Ver.7.4.0で追加) (14) 間隙水要素-土要素対応表をファイル(#07)に出力 (Ver.7.4.0で追加) (15) 流速ベクトルファイル(#40)に間隙水要素(排水条件)以外の要素に関する応答値が混入するバグを修正 (16) STAT命令下でFLOW命令を発行した場合の処理が適切でなかったバグを修正 ※販売版ver.7シリーズの使用可能PC台数は、STD版 (ACA版含む) 1台、LAN版 (同一ネットワーク内で) 最大3台まで。 ※ユーザー会員版は日本語または英語から選択。使用可能PC台数は、同一ネットワーク内で最大10台まで。
要素	流体要素	○	○
	線形はり要素	○	○
	線形平面要素	○	○
	間隙水要素 (非排水条件)	○	○
	ジョイント要素	○	○
	側方地盤要素 (側方粘性境界)	○	○
	下方地盤要素 (底面粘性境界)	○	○
	流体-構造連成面要素	○	○
	マルチスプリング要素	○	○
	線形ばね要素	○	○
	節点集中質量要素	○	○
	ダンパー要素	○	○
	非線形はり要素	△(※FLIP ROSE ver.7.3での追加機能を除く)	○
	非線形ばね要素	△(※FLIP ROSE ver.7.3での追加機能を除く)	○
	杭-地盤相互作用ばね要素	△(※FLIP ROSE ver.7.3での追加機能を除く)	○
	カクテルグラスモデル要素	○	○
	間隙水要素 (排水条件)	○	○
	非線形はり要素 (非対称修正武田モデル)	○	○
	利用者定義 非線形はり要素	○(販売版、ユーザー会員版を除く)	○(販売版、ユーザー会員版を除く)
平面応力要素 (線形平面要素に追加)		○	